



～ 大分労基署管内行動災害ゼロ運動 ～

行動災害防止のための

「安全の見える化」事例集



はじめに

大分労働基準監督署では、令和5年及び令和6年ともに、休業4日以上労働災害死傷者数（新型コロナウイルス患者数を除く。以下同じ。）、業種別での第三次産業の死傷者数は過去10年間で最多を更新しました。また、令和6年の死傷者数を事故の型別に見てみると、「転倒」による死傷者数は前年比7人減となったものの、腰痛等の「動作の反動・無理な動作」による死傷者数は前年比10人増の106人となり、過去最多となりました。

当署の死傷者数の増加要因である行動災害を防止するため、令和6年度及び令和7年度に「大分労基署管内行動災害ゼロ運動」を展開し、本運動において、行動災害や高年齢労働者の労働災害防止対策、「Safe Work OITA」及び「Cool Work OITA」のロゴマークを活用した取組の「安全の見える化」事例を募集したところ、当署管内の第三次産業の企業を含む皆様方から100事例を超える応募をいただきました。

このたび、応募いただいた取組事例を「安全の見える化事例集」としてまとめ、行動災害防止の取組強化、安全意識の向上を図るため、広く紹介することとしました。

本事例集が皆様の安全活動の一助となることを期待します。

令和8年2月
大分労働基準監督署

行動災害防止のための「安全の見える化」事例集

～ 目次 ～

事例集

- ◇ **転倒災害防止部門** 2
【応募業種】
小売業、警備業、社会福祉施設、ビルメンテナンス業、製造業、建設業
- ◇ **腰痛予防対策部門** 24
【応募業種】
小売業、社会福祉施設、製造業、建設業
- ◇ **エイジフレンドリー部門** 34
【応募業種】
小売業、その他の業種、製造業、建設業
- ◇ **Safe Work OITA部門** 37
【応募業種】
社会福祉施設、その他の業種、製造業、造船業、建設業
- ◇ **Cool Work OITA部門** 47
【応募業種】
小売業、運送業、製造業、建設業